

視察調査・研修会等報告書

令和 6 年 7 月 30 日

下記のとおり報告いたします。

小山市議会議長 篠崎 佳之 様



議員氏名(荒川 美代子)

研修・視察日時	令和 6 年 7 月 24 日
研修会場・視察先	国際ビル 2階 東京都千代田区丸の内3丁目1-1
研修名・視察目的	地方法議員研究会 「今さら聞けない 質問のキソのキソ」
対応者(説明者)の 役職・氏名等 ※視察調査のみ記載	
参加議員(同行者)	佐藤 忠博 大平 拓史
調査概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 質問の目的 2. 質問の基本① 3. 良い質問・悪い質問の具体例 4. 質問の基本②
市政の課題等に対し どのように参考になるか 所感等	<p>市民生活のうえで不利益になるような課題を見つけ出し、その改善策を提案して行きたい。その為にはアンケートを高くして、情報を収集する。不利益の根拠や、改善案の妥当性を裏付ける根拠等をしっかり説明できるようにすべきと感じた。</p> <p>市民から集めた税金を市民生活に還元するために働かなくてはならない。</p>

視察調査・研修会等報告書

1. 質問の目的

- ・一般質問の目的を「行政を動かすこと」。行政を動かすことで市民にプラスを届けることができる。
- ・(Eメール)で答えられる質問 = クロ-ストクエスチョン、(Eメール)で答えられない質問 = オ-プンクエスチョン。何を、いつまでに、誰かやるのかを答えさせる。

2. 質問の基本①

- ・自治体職員は何を考えたいるかを理解する。
- ・職員が嫌いな議員とは... 質問がよければいい、思いつきで質問してくる。質問がよければ責任をとさない。手柄の横取り、無駄に押さえる。
- ・職員が尊敬している議員の特徴... (Eメール)があり、議員の背後に多くの市民の意思がある。勉強に裏打ちされた独自の視点をもてる。
- ・ゼロ回答を許してはならない。

3. 良い質問・悪い質問の具体例

- ・悪い例、意気込みをお見せ下さい、この予算は巨額ですが、市の範囲外の質問。長々とした意見の陳述。
- ・良い例、具体的に計画を聞く。予算の妥当性がわかるように、他市の事例引用。自分の意見と他人の口から語らせる。市の過去の答弁や国の資料の引用。
- ・「Eメール」の使用例。
た- 例えは? ち- 違いは? フ- フォर्मは? せ- 定義は? と- 統計的に裏付け?

4. 質問の基本②

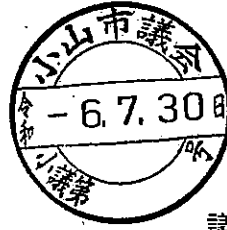
- ・行政が動かさざるを得ない質問の構成
理屈が通った質問を行う。行政が動かさないと質問を行う。
動いたときには議場で職員を褒める。行政が動かぬときは議場で語る。
- ・理屈が通った質問の黄金フレームワーク
あるべき像を聞く → 現状を確認する → 矛盾を指摘する → 提案する

視察調査・研修会等報告書

令和 6 年 7 月 30 日

下記のとおり報告いたします。

小山市議会議員 篠崎 佳之 様



議員氏名(荒川 美代子)

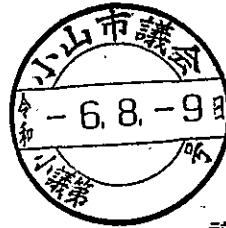
研修・視察日時	令和 6 年 7 月 25 日
研修会場・視察先	鹿児島県志布志市 市民環境課
研修名・視察目的	使用済紙おむつ再資源化事業について
対応者(説明者)の 役職・氏名等 ※視察調査のみ記載	志布志市市民環境課 環境政策グループリーダー 〃 〃 グループ 〃
参加議員(同行者)	佐藤 忠博 大平 拓史
調査概要	<ul style="list-style-type: none"> 志布志市は2016年から、新おむつ製造の民間企業と協同で、使用済み紙おむつから取り出した11μmほどと新しい紙おむつの原材料にする「水平リサイクル」の実証試験に取り組み、元々、焼却施設が埋め立てしていた。ごみ全体の1/2割が紙おむつで占めるようになる。処分場の延命に向け再資源化が課題。 リサイクルされた紙おむつは九州地方の一部の介護施設などで、試験的に利用されている。 モデル事業で、子ども用の紙おむつの回収率が8割に上ると効果が見られたことから今年4月から市内全域で取り組む。 再資源化を確立し埋め立て処分場の延命をはかっている。
市政の課題等に対し どのように参考となるか 所感等	<ul style="list-style-type: none"> 高齢化が進み、家庭や福祉施設などからごみとして排出される紙おむつは年々増加すると予想される。 ユ=チームが積極的に事業を推進している事を見ると循環型社会の構築に向けて大切な視点になる。 環境省は30年度までに100自治体に拡大を目指しているが、採算性の確保や技術の導入など課題も多々あることから、今後、山口市でも推進できるか、研究していきたい。

視察調査・研修会等報告書

令和 6 年 8 月 9 日

下記のとおり報告いたします。

小山市議会議員 篠崎 佳之 様



議員氏名 (菅 川 美代子)

研修・視察日時	令和 6 年 8 月 5 日
研修会場・視察先	国際ビル リソリス貸会議室 東京都千代田区丸の内 3丁目 1-1
研修名・視察目的	地方議員研究会 質問の仕方 集中講座 「住民満足度爆上がり」の質問の仕方「可視化と不安解消」
応対者(説明者)の 役職・氏名等 ※視察調査のみ記載	
参加議員(同行者)	佐藤 忠博、大平 拓史
調査概要	<p>○市民の満足度の向上、可視化</p> <ul style="list-style-type: none"> 議員の質問と評価は100%に反り、キックがある。 政策100%に反り、市民が満足するには何をやるか、市民のニーズに合、7113かを検証する。 政治課題と市民が求める政策、望む113ものを意識ね。 市民が感心しているものにフォーカスし、(111質問より)同じ111質問と。(渋滞対策、公園対策、公衆化対策事例) <p>○質問準備と事後対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> アンケート調査、調査報告と質問応答で可視化する。 自分に向けている観点、を他の人が教えてくれる。依頼がわかるといい。
市政の課題等に対し どのように参考になるか 所感等	<ul style="list-style-type: none"> 市政の課題を感じて質問を行って113か、それが市民の感心事かどうかを改めて振り返してみる。市民の声を行政に届け続けても、それが市民に伝わって111反りもある。 アピルが下手な点を反省すると共にSNSの有効な使い方を学ばねほと感じる。 ご支援111たが反りとでき111仕事である以上市民の皆様安心して111たをける政策が提案できるよう働いて行く。

視察調査・研修会等報告書

令和 6 年 8 月 9 日

下記のとおり報告いたします。

小山市議会議長 篠崎 佳え 様



議員氏名(荒川 美代子)

研修・視察日時	令和 6 年 8 月 6 日
研修会場・視察先	宮崎県延岡市役所
研修名・視察目的	平常時・災害時共通 災害に強い地方創生ネットワーク事業 平常時・災害時に対応した自立分散型システムの整備 「NervNet(ナブネット)」の導入について
応対者(説明者)の 役職・氏名等 ※視察調査のみ記載	企画部スマートシティ推進室 室長 [REDACTED] " 室長補佐 [REDACTED] " 主任主事 [REDACTED]
参加議員(同行者)	伍藤 忠博 大平拓史
調査概要	国立研究開発法人 情報通信研究機構が 開発したネットワーク技術。白浜町に続き全国2番目に導入 市民、旅行者、誰でも利用できる「のびやかスマートシティWiFi」を提供。 市民、観光客にアンケートを依頼。その結果を分析し市の政策に反映。 回答結果やHP閲覧状況と利用者の同意に基づき収集分析。 個人の傾向に合わせた市内情報をメールで送信。 衛星通信回線によるバックアップにより全ての基地局で災害時 モバイル回線が不通になっても「のびやかスマートシティWiFi」が繋がる。 避難所の入退室や安否確認をマイナンバーカードなどのICカードを 利用で行う。インターネットがナブネットの情報と共有。セリを確保。
市政の課題等に対し どのように参考になるか 所感等	・災害時でも平時でも活用できる ネットワーク「NervNet」 先進事例として初めて話を伺ったが、導入には ご苦労されたようだ。なじみのないシステムだけに、活用の 仕方にも説明が必要と感じた。 ・災害時の備えとして有効な事業と感じる ・国の交付金を活用して小山でも取り入れたい ・内水被害等 避難所生活が今後考えられる事から 市民生活の安全安心を守るためにも推進していきたい。